

## 2025年度

### ニチイキッズ福島みなみ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月15日（木）～2月17日（火）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ 思いっきり学ぶ」の保育理念のもと、一つ一つの遊びや学びの過程を大切にしてきた。また様々な活動に対し年齢だけではなく成長に合わせた内容を考えた事で、子ども達のやる気や興味を引き出す事が出来、より保育活動に幅ができた。
子どもの発達援助	生活と遊びが展開される中で、一人ひとりの発達を踏まえ養護と教育を一体化しながら配慮してきた。また子ども達の多様な感情を温かく受け入れ適切な対応をしていくことが重要である。また食育活動では「食」の興味が持てるよう五感で体験したり食文化について学んだりと食べる事への意欲がもてるようにしてきた。今後は家庭での食の環境もより豊かにする役割を果たせるようにしたい。
保護者に対する支援	行事等の保育活動時も含め、日々の出来事を送迎時や連絡帳などで詳しく伝え、小さな変化や成長を感じてもらえるよう進めてきた。保護者の理解、協力を得られるよう努めてきたが、日々の伝達や収集等の細かい部分が不十分な場面もみられたため、保護者の気持ちを受け止めたうえで相互理解を図り、子どもたちの育ちを支えられるようにしていきたい。
保育を支える組織的基盤	外部研修・内部研修の充実や保育士、栄養士、調理員の各専門性を生かした園内研修で知識や技術の向上に努めている。常に新しい情報を更新し研修で得たことを実践しながら一つのチームとなって保育にあたってきた。

総評
<p>子ども達の小さな成長をたくさん見つけ送迎時や連絡帳などで伝えることで、保護者と共感し成長を喜び合うことができた。また年間を通しテーマを持って行事等を行う事で、職員間の連携も取りやすく丁寧な活動を目指し提供する事ができた。今後は子どもたちの要求を満たしながら、一人ひとりの発達を理解し個別に寄り添いながら場面に適した言葉がけを意識して関わっていききたい。また園と家庭と連携取り合っって情緒の安定、育ちを支えていききたい。</p>